明治十一年十二月三十日第三種郵便物認可　（月曜）日曜及祭日は休刊　明治四十二年九月四日（土曜日）第二百五号（一）

東京新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●高麗燒と滿洲

滿州撫順地方に於て佳々高麗燒の發掘さるゝを以て取調の爲め工業傳習所森技師は過般同地方に出張此程歸任されたるが今其顛末を聞くに

南滿鐵道會社撫順鑛業所にては附近にて高麗燒を發掘するを以て日々數名の人夫をして無數せしめ種々研究を爲し又參考用として日本等へ送り居れるが其窯等實に遺歩したるものゝ如き窯業津等にあるものは竈の後方左右に烟出しありて尋ら其方へ火力を吸收し爲めに中央には充分火力及ばざるの不備の點ありしも撫順にて發見せるものは左右及中央の三ケ所に適當の烟出しあり以て竈中の火熱を平均せしめる構造にして燃料は既に石炭を用ひしもの〻如く日本に於て此二三十年來石炭を用ふるに至りしに比せば實に拙かに遺歩せるものと云ふ可く其附近にて發掘せし豊中に古錢ありて其錢の最も古きは前漢武帝時代の五銖錢にして今を去る實に二千二百年前にあり其新しきものを見るも七百五十余年前の錢なるを徴すれば此竈の如き七百年前のものと云ふを得べく而して陶器を燒くに熱を平均させる爲耐火質を以て作れるサヤ等の破片あり又竈中陶器を配列すべき棚及之を支ふ可き棒の如き目下日本其他に於て使用し居れるものに比し遜色あるを見ず七百年前に斯く遺歩したるには實に驚かざるを得ず而して之に從事したるは韓人なる哉清人なる哉に就き考ふるに其時代は該地方一帶に高麗領なりと云ふものゝあれども記錄の存するものなく土民の傳ふる所に聞けば昔時高麗人非常に入込み居たりと云ふに見れば無論韓人にして清國中南清地方は陶器製造尤も古くより行はれ居たるも滿州地方は反つて韓國より傳授したる傾あり尙韓人は陶器の原料を燃料の所在地に運び初めて製造するの慣ひあるを以て或は撫順に石炭の產出あるを便とし竈等を設けたるものなるべしと推せらる因に撫順にて發掘せる高麗燒は凡て黑色にして壺一輪挿の如きもの、馬の形をなせるもの等にして現今多少此燒方に似よりたる陶器を本溪湖及奉天近在にて製出し居れるが其種別は洗面器、鉢、カンテラ等の如きものなりと（日韓電通）

●大邱歸客談

吹荒む不景氣風は大邱も同樣從前三萬と稱せられし大邱の韓民は今や僅かに一萬を算ふるのみ何とか救濟の法を講ぜざるべからず▲農況は大邱に限らず同地方は春來旱天打續きて插秧期の貴雨も全部插秧を得ず一部不能の個處あり大饑饉は不況を傳へられつゝあるも其後天候順境となり豊作の個處多く實際に於て寧ろ好況の方なり▲治道工事も最近一年間に著しく面目を改め當局者の施設宜しきを以て一般に謳歌しつゝあり

第四十二席　桃川燕玉演

中庭を眺めながら暫くともなく耳に入つたのは、○「コレ、あれ程言つて聽かして分らねい、貴樣のやうな馬の分らぬい女もないもんぢやアないか、大概諦めが付きさうなもの、きり〳〵性根を据ゑて判然した挨拶言つて聽かせるが宜い、めそ〳〵泣いたからつて馬の分るものぢやねえ、俺が嘗て面見るのは大嫌だ、それとも强つて強ひて此れ言やア仕方がねいから、何處へでも持つて行つて宿場女郎に叩き賣つてしまふ、それが嫌なら諦と言つて言ふ事を聽いたが宜からう、さう云ふもんだ、判然挨拶を聽かせねいか」と疊み掛けて詰じ付けて居るのは未だ年の若い江戸の者らしい、と泣聲を絞り立てゝ、まだ年のいかぬ娘と見ゆる女「あなたは酷ひ人だ、そんな不實意な人と知らず都を出て、是迄來たのは私の誤り、何と言ふてもあなたの言ふ事を聽く、ことは出來ませぬから、サ寒う死しして下さるやう」男「馬鹿な事を言へ、殺してしまふ位ならわつちられつちやら此處迄連れちやア來ねい、諦の分らぬい女ぢやアねいか、合點の行かぬ二人の酷だと、片膝立つて尙も樣子を聞かうと云ふ所へ、廊下をバタ〳〵足音高くやつて來たのは當家の下女下「且那樣、御宿帳を一つ願ひ度う存じます」式「ア、左樣か、此れへ出せ」下女「ハイ」硯箱と帳面を其處へ出した、竹内式部筆を取つてさら〳〵と已が姓名を書いて式「是で宜いか」下女「ハイ有難う存じます」式「コレ〳〵女や、此向ふの離れに男女が泊つて居るやうだが、旅人か、但しは宅の者か」下女「イエ今日御泊りになりました御客さんでございます」式「ハヽア何だ、町人か但しは武家体の者か」下女「ハイ御若い御武家さんでございまして、關東の御方でございます」式「ホウ女子は……」下女「御女中は京都の御方でございまする」式「フーム何か先刻から男と女が話を致して居る、身共の耳に入つたが、合點のいかぬ事がある、貴樣達は家業柄、大概一目見たら心付かぬ事もあるまい、どう云ふ樣子だ」下女「ハイ何だか存じませぬがあの御武家さんが、れ若い御女中を江戸まで連れて御出になるのでございますが、どうやらお女中は欺されて京都を出たと云ふやうな工合でございます」式「ホヽウ」下女「先刻帳場へ御出でになりまして、密々宿の主人に泣いて、御女中が話をなされて御出でゝございましたが、ついさア忙しいから詳くは存じませぬが、何だか御氣の毒のやうに存じます」式「フーム京都を發ひながら、どうも不愛な女、明日の朝早く死なして下さい」男「何を吐かしやアがる、江戸の驛河臺、公儀の大番組を勤めます家柴島田小一郎、殺して宜けりやア俺が殺してやる、エ、手前の顏川孝太郎と云ふ者の家來島田小一郎、殺して宜けりやア俺が殺してやる、エ、手前の顏川孝太郎と云ふ者の家來島田小一郎、殺して宜けりやア俺が殺してやる、宜し、次第に依つたら此奴を引捕へ娘イ泣聲を上げて驚いて居る、さア竹内式部の顏色を變じて何か惡い巧みをする事を致しでもするやうな氣色、女はヒイと言つて泣いて居るが氣になつて、今は塞り參ねました

二十四歳になる男で、女は京都の中立賣通り上る町の德大寺大納言殿侍醫でございまして貴島閑齋と云ふ者の娘初江と申します式「ハヽア酷奴關東の惡士が、年のいかぬ都の女子を誘かして何か惡い巧みをする樣子だ、エイ此な情知らず、汝のやうな分らなさるやう、あなた慈悲ぢや情ぢやどうぞ快く死なして下さい」男「何を吐かしやアがるのやうな馬の分らぬい女もねいもんぢやアねいか、宜い加減に諦めが付きさうなものだ、エイ此な情知らず、汝のやうな分らないと奴はあるもんぢやアねいと何だか手荒いこと迄言ふ可く其附近にて發見せるものは左右及中央の三ケ所に適當の烟出しあり以て竈中の火熱を平均せしめる構造にして燃料は既に石炭を用ひしもの〻如く日本に於て此二三十年來石炭を用ふるに至りしに比せば實に拙かに遺歩せるものと云ふ可く其附近にて發掘せし豊中に古錢ありて其錢の最も古きは前漢武帝時代の五銖錢にして今を去る實に二千二百年前にあり其新しきものを見るも七百五十余年前の錢なるを徴すれば此竈の如き七百年前のものと云ふを得べく而して陶器を燒くに熱を平均させる爲耐火質を以て作れるサヤ等の破片あり又竈中陶器を配列すべき棚及之を支ふ可き棒の如き目下日本其他に於て使用し居れるものに比し遜色あるを見ず七百年前に斯く遺歩したるには實に驚かざるを得ず而して之に從事したるは韓人なる哉清人なる哉に就き考ふるに其時代は該地方一帶に高麗領なりと云ふものゝあれども記錄の存するものなく土民の傳ふる所に聞けば昔時高麗人非常に入込み居たりと云ふに見れば無論韓人にして清國中南清地方は陶器製造尤も古くより行はれ居たるも滿州地方は反つて韓國より傳授したる傾あり尙韓人は陶器の原料を燃料の所在地に運び初めて製造するの慣ひあるを以て或は撫順に石炭の產出あるを便とし竈等を設けたるものなるべしと推せらる因に撫順にて發掘せる高麗燒は凡て黑色にして壺一輪挿の如きもの、馬の形をなせるもの等にして現今多少此燒方に似よりたる陶器を本溪湖及奉天近在にて製出し居れるが其種別は洗面器、鉢、カンテラ等の如きものなりと（日韓電通）

●大邱歸客談

吹荒む不景氣風は大邱も同樣從前三萬と稱せられし大邱の韓民は今や僅かに一萬を算ふるのみ何とか救濟の法を講ぜざるべからず▲農況は大邱に限らず同地方は春來旱天打續きて插秧期の貴雨も全部插秧を得ず一部不能の個處あり大饑饉は不況を傳へられつゝあるも其後天候順境となり豊作の個處多く實際に於て寧ろ好況の方なり▲治道工事も最近一年間に著しく面目を改め當局者の施設宜しきを以て一般に謳歌しつゝあり

割烹界の福音　味の素

「味の素」は調味料として、和洋料理は勿論、一般の家庭に是非缺ぐべからざるもの、旅行の時などに携帶せられたならば、如何なる遠隔な土地でも、食物の不味きを訴ふることはありません、その上醬油や、昆布佃煮に魚々御加減の手數も入らず、暑れにでも克く調理の出來ないうまい飲も魚と調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金五十錢、他地方は引替小包にて送ります

韓國特約店　京城本町二丁目　辻屋　本店電話二四八番　支店電話三六六番

欧米雜貨　洋酒食料品　洋畑草類　金銀圓美術品

直輸入商　京城本町二丁目　岡三丁目

正改刻時間仁京

來る九月十一日より京城仁川間の列車運轉時刻を全部改正いたし候

◎主要驛發着時刻

仁川行		京城行	
西大門發		仁川發	
南大門發	朝六、二〇	紐育發	朝六、〇〇
紐育着	七、三五	南大門着	六、一五
仁川着	七、四五	西大門着	七、三五
西大門發	八、二〇	南大門發	六、二〇
南大門發	九、四〇	紐育發	七、〇〇
紐育着	一〇、〇〇	南大門着	七、五五
仁川着	一〇、三五	西大門着	九、一四
西大門發	午後一、二〇	南大門發	午後一、一〇
南大門發	二、三〇	紐育發	一、四五
紐育着	三、五五	南大門着	三、五五
仁川着	四、一〇	西大門着	四、一五
西大門發	六、一〇	南大門發	五、一〇
南大門發	八、一〇	紐育發	六、一〇
紐育着	九、三五	南大門着	七、三五
仁川着	一〇、三五	西大門着	九、一四

●尙同日より西大門南大門龍山間小運轉の各列車時刻も改正致候間詳細は停車場に就き御承合被下度候

明治四十二年九月　統監府鐵道廳

●花柳病一般・痔疾注射療法

神戸資生分院　新築落成入院隨意

京城梅毒病院

京城相生町（南門湯隣）

院長　元兵庫縣組原驅梅病院醫長　醫學得業士　蘆田耕平

廣告

解雇廣告

牧夫傭金係　八月廿六日　荒井牧場

右者今般解雇致候に付自今當場に一切關係無之候　右廣告仕候也　八月廿六日　池田與八

解雇廣告

元助手　江島岩身

右之者今般不都合の所爲有之候に付解雇致候間自今當院に一切關係無之候　九月一日　梅毒痲痺專門　南大門外　戸田病院

優良保証　高級上等　綿糸布類各種　他諸品　平壌明石町一丁目　德商店

京城新報

軍隊増加の必要あり

國民新聞の暴徒鎮壓論

地方に於ける暴徒は今尚は猖獗を極めつゝあり、當局亦た是が掃討に力を盡さゝにも拘らず、暴徒は今に鎮滅せず各所に出没して暴行を逞ふする所以のものは畢竟兵力の不充分なるに歸因するに非ざるか、是を以て余輩は駐韓軍隊を増加し一暴掃討すべき事を屢々論議したりき。然るに前統監時代に於ては常に暴徒の鎮定近きにあり〻報じて暴徒跋扈の說を打消すが如き觀ありき、然れども事實は事實也、爾來幾星霜を經過するも鎮滅せる事實は暴らざるのみならず、今に尚跋扈しつゝあり。我政府に於ても此點に就て大に悟る所ありしか、桂内閣の御用紙國民新聞は韓國の草賊出沒は關心の一なりとし、韓國の安寧秩序に關して全部の責任を負擔する日本帝國は果して其責任を遂るに於て不足なき兵力を高麗半島に有するや否や吾人は殘念ながら未だしと云はざるを得ずと斷じ、而して更に曰く若し韓國に我兵力十分ならんか一人を殺さず一彈丸を放たざるも暴徒を鎮壓するを得べし、然るに今日迄討伐に次ぐに討伐を以てするも手に餘る所以のものは軍隊の動めざるに非ず兵力の不充分なるが爲也とし、最後に世界列國も亦日韓兩國の二に對して一なるを認諾す然るに保護の責任を有する日本帝國が其脚元に斯る弱點あるは必苦し是れ帝國の威信に關する重要の問題也と論ず、先には暴徒の鎮定近きにありと頻りに吹聽したるに、今は桂内閣の機關紙によりて駐韓軍隊を增加せざれば暴徒の鎮壓は難しと斷せらる、余輩は聊か奇異の感なきに非ざるも、其論ずる所は眞に當を得たるもの也、機關紙の說或は一の政略より來れるやも知らず、然れども余輩は之が政略たると眞面目たるとを論ぜず、兎に角暴徒討伐の忽にすべからざるを悟り、之に就て軍隊を增派するの必要を認ひることを發表せられしことを喜ぶもの也、暴徒が數年に亘りて跋扈し前途尙鎮定せざるに於ては産業の發達も地方行政の改善も到底行はれざる也、之を鎮定して安寧秩序を確保し、良民をして堵に安んせしひるは全く帝國の責任也、保護の全責任を有する帝國にして數年に亘るも暴民亂賊を鎮定すること能はずと云ふに至りては眞に威信に關す、列國に對しても全く心苦しきは國民新聞の言へるが如し、我政府にして軍隊增加の必要を認ひるに至りしならば速に之を斷行して暴徒を一掃し以て良民をして安じて業務に勵ましめざる可らず、現在の如き狀態にては地方の開發は到底なし得可らず、余輩は軍隊增加の一日も速ならんことを希望するもの也。

▲安奉線路の復舊　廿九日

以來の强雨にて五リウハどコウバクトウ間の橋梁三個所墜落したるが本日漸く復舊したり（同上）

奉天電報

▲韓皇太子の參内

韓國皇太子は本日伊藤韓育總裁と共に參内、天皇、皇后兩陛下に謁見せられたり（二日午後著）

▲韓太子函根行啓

韓太子には參内謁見の後午後二時五十分新橋發列車にて伊藤總裁と御同道函根に行啓せられたり。同地には大倉喜八郎氏別邸に約一週間滯在の御豫定なり（同上）

東京電報

▲高平大使の歸着

高平駐米大使は本日午前十一時半新橋驛に歸着各大臣其他の出迎者多數あり（同上）

▲韓太子の獻上品

韓太子は本日參内の際天皇、皇后兩陛下に左の物品を獻上せられたり（二日午後）

天皇陛下へ　北海道產白熊皮　アイヌ風俗寫眞帖

皇后陛下へ　津輕塗文臺、硯箱　銀製ケンベイ

▲兩陛下の御賜品

韓太子の獻上品に對し兩陛下より最と御滿足に思召され太子へ左の御賜品ありたり（同上）

天皇陛下より　象牙箱、銀製寫眞掛、手函

皇后陛下より　銀製狩の置物、銀製香爐

▲安奉工事の進捗

安奉線改修工事は無事進行しつゝあり一時工事に妨害を加へんとしたる沿線の馬賊等も屏息して何等不穩の擧動なく來る十日より唯一の難工事たる鷄冠山の隧道開鑿工事に着手する筈（三日午前發）

▲統監夫人の發期

貴禰統監夫人は五日渡韓の途に就かるゝ筈（三日午前）

▲間島土地所有權

間島問題協定は間島は歷史上清國法權の支配を受くると共に韓人の土地所有權を享受して承認せしめ我國は同地に領事館を設置すべしと（同上）

▲駐韓五六師團長決定

第六師團長西島中將は後備に編入せられ其後任には第五師團長木越安綱氏任命せられ木越中將の後任には教育總監參謀長大谷喜久藏氏轉任し本郷房太郎氏教育總監參謀長に任命せられたり（三日發）

▲隈祇候官の歸韓

祇候官嚴柱益は本日午後國府津發歸韓の途に就く（三日）

▲虎疫流行地の指定

清國營口牛莊地方及安東縣地方を虎列拉病流行地として九月八日より指定する旨內務省は告示す（三日午後著）

雜報

●東拓漁業認可理由

（慶原漁政課長の談）

東洋拓殖會社は附帶事業として水產業の經營を爲さんが爲め同會社法第十三條に依り日韓兩國政府の認可を願出で去る廿八日主務官廳より許可せられたり右は主として平安道に於て漁業の經營を爲す目的に出でしものにして從來同道は支那密漁船の最も蝟集せる地に屬し該海面の多大分は密漁船の獨占せしが如き有樣を呈し少許の朝鮮漁船ありと雖も僅かに一部分の漁場を使用するに過ぎざりし狀況なりしが當國漁業法の施行と共に密漁船に對する取締厳行せられ彼等は漸時に退却しつゝあるも之に代て入漁すべき日韓漁民は其數未だ多からず殊に日本漁民は漁場の僻在せるが爲め之を入漁せんと欲せば勢ひ移住を企てざる可からざるの不便を生ぜし折柄拓殖會社は進んで此地方の漁業經營に任せんとし移住家屋の建設漁獲物の處理及販賣機關等を設備し專ら日韓漁民に便宜を與へんことを旨として其計畫を立て公私上頗る稱益あり計圖なるを以て主務官廳は該會社の經營方針を是認し附帶事業としての出願に對し認可を與へられたるものなり尤も其漁業經營に就ては漁業法規に遵ひ更に免許出願の手續を爲すを要するのみならず其漁場地區の如きも單に空漠たる平安道沿岸全部を占用するを許すの意に非ずして漁業法規に示せる各種免許漁業毎に其必要の地點を撰び成規の手續を經さしむる順序なるを以て從來に漁業の慣行を有し若くは特種の權利ある漁業者の行爲を妨くるか如きことは斷じて之れを爲さしめざるの方針なるに因り會社の經營が果して豫期の如く進行せば從來支那漁船の獲得せし漁利は日韓漁民の獲得に歸するのみならず荒涼無人の地も化して燦然たる漁村の建設を見るべき斯業上近來の一大美事と謂ふべきなり

●韓日事蹟編纂內容

間島問題協定に依り今回日韓兩國關係事蹟を編纂する事となり其總裁を既報の如く伊藤公に仰付けられたるに付同公爵は編纂委員數名を選定し御裁可を仰ぎたる上委員の任命あると同時に編纂局を設置し兩國帝室の關係事項より政治、軍事、歷史、地理、財政、經濟、風俗、民情等に涉り亘細調査をなす由なり

●陵園と森林官の新設

陵園墓にして樹木の有る所は四十一個所にして從來宮內所屬たりし當時に於ては大々看守の吏員置かれありて相當に保護の途立ち居りたるが本年一月より凡て農商工部の管理保護に移りたると同時に宮內府にて祭祀に關係ある吏員參奉以下の職員を廢止したるが爲め盜伐に行はるゝに至れり之れが爲め陵園墓の威嚴を損するのみならず多くは風致及水源涵養の保安に關係あるもの多きを以て其儘に放擲し置くこと能はず依て今般農商工部山林局に於ては七千八百四十圓を豫備金より支出し之れに對して保護の職員を置くことに決定したる由にて其數は山直と稱し百八十三名を置くことなりたるが其重なる陵園八個所には山直の外山監を置き山監山直の監督は參奉に屬することなりたり而して其費行は本月より爲すべき筈にて前項八個所の陵園は左の箇所なりと云ふ

東九陵（揚州郡）英寧陵（驪州郡）西五陵順昌園（高陽郡）西三陵昭慶園（高陽郡）洪陵（京城東大門外）裕陵（東大門外）光陵（水原郡）健陵（水原郡）

●忠南連山の水利業事

水利租合法發布以來密陽の灌漑事業が好成蹟を收めたるは既報せし所にて追々他地方にても其利を覺り計畫中のもの數多なるが忠清南道連山に於ても同樣の計畫あり江原平野の最隅馬久坪の平野は小テーブルランドの地にして往古は附近灌漑充分に行き渡り三百町歩の面積中耕地二百五十六十町歩に上るの有樣なりしが頻年藏伐の結果池溪共に涸渴して水利を缺き今や一面荒蕪に歸したるも何分土地肥沃にして雜草繁茂しながら乾田にも勝へざる狀況なるを以て一里許の個所より河水を引用し河水を以て二百町歩を灌漑し其不足分を溜池を設けて灌漑を充分ならしむる計畫にて目下既に高般の計畫を了し其工事費を農銀に仰ぐべく交涉中なれば不日工事着手の運に至るべしと

●八月下旬の外國貿易

八月下旬の輸出入比較左の如し

區別	本年分	前年同期
輸出品價	三七九、一八〇	三四一、〇一九
輸入品價	一、一〇一、四四五	一、一八九、〇八三
輸入超過	六六六、六三五	八四八、〇〇四

港別は左の如し

港別	輸出額	輸入額	計
仁川	二六、三三三	二三五、〇八〇	二六一、三一三
釜山	七二、七二七	七三、四三七	一四五、一六四
元山	六四、四九九	三四、四三七	九八、九三六
鎭南浦	六六、八六六	三〇、〇三〇	九六、八九六
京城	六、一九九	二、一三三	八、三二二
群山	三、一三〇	二、一三二	五、二六二
木浦	八、八五五	三、四四二	一二、二九七
馬山浦	一、〇五三	五、〇九九	六、一五二
清津	九、三二〇	二、一三二	一一、四五二
城津	九、六〇四	四八、一五七	五七、七六一
新義州	一、〇二一	一、六六六	二、六八七
計	三五、一五六	一、〇二一、四四五	一、〇五六、六〇一

●韓銀と度支部の警告

今回の韓銀株募集は投機者流の募を防止するの趣旨なるが度支部は右取扱銀行のに對して證據金又は拂込金の融通を需むる者ありたるときは克く玉石を鑑別し此等投機者流の利用する所とならざる樣注意すべき旨を警告し且つ地方在住取引者へ對しては初日に申込まざれば募入漏れとなるや知れざる旨を注意すべき旨命令せりと云

●木把騷擾事件の落着

在安東縣部領事及鐵東邊道臺間に於て屢々協議を重ねたるが其結果同江上流に於ける流木は清國側より責任ある官吏を派し發林廠員と立會の上之れを檢査受領し而して清國側の手にて流下し「ホクカドウ」に到着の上發林廠にては清國官吏と立會檢査をなして之れを受領し其員數に對し流下賃を支拂ふことに決定したるが木把等も右決定に滿足し全然騷擾の擧動を止め鴨綠江沿岸は鎭靜に歸したる旨統監府へ公報ありたりと

●免稅工業用器具種別

昨年法律第二十一號に依り關稅を免除せらるべき鑛業用器具に關し今回關稅局に於ては「鑛業用器具」とは鑛業に必要なる器具にして金製品及其部分品又は附屬品と謂ふ但器具の材料にして鑛業必要上全製品とし輸入することを得す且つ之れに簡單の工程を施すに因りて直に全製品たる可きものは器具と見做す」との解釋を一定し各稅關へ通達したりと云ふ

●商業會議所聯合大會

毎年十月上旬開催すべき商業會議所聯合會は本年は緊急を要する關稅改正問題等の爲め一ヶ月繰上げ本月拾四日開催する筈なり

●本年の農作豫想

（中村農務局長の談）

本年の農作に就き中村農務局長は語りて曰く近來地方官が勸業上に多大の注意を拂ふに至りたるを以て農作の狀況等に就きても中央政府への報告頻々として到達するに至りしが就中蝗害水害旱害等の出來事に就ては其の報告も少なからざる故に其記事のみを見て深く農界の事情に通ぜざるものは本年の農作も悲觀すと雖も是等諸種の被害は概ね一局部に止るが故に韓國全體より打算する時は左程重きを置くに足らず寧ろ今後の天候如何は本年農作の豐凶に重大なる關係を有す目下の狀況より見れば世人の思惟する如く不作に非ず平年作と樂觀すべしと

●京城文庫の近況

文庫は茲に年歲の日子を重ねたるが今其の狀況を聞くに七月以降に於ける貴籍寄贈者の重なるものは本內農商工部次官、原田京城日報主筆、井上吉郎、隈本等の各書記官、飯島榮太郎、廣江澤次郎、廣瀨殖、產會社長、清水農學士農商工部農務局、東京博文館、日本電報通信社、明治中學會、大阪、鐘美堂の諸氏にして合計約八百一日平均十二冊强に恰當し尙書籍以外別に京城廣江商會より閱覽者の爲めに煙草「八島」百本入二十函を寄贈せり而して閱覽人員は七月百七十五人八月三百二十人通計約五百一日平均八人を算し其種類別は文學物最も多く傳記、法律、紀行、地理之に次ぐ又た閱覽者は官吏其他一般世人の研究者多く當地實業家最も少しと云ふ

●解散軍隊の運動

一昨隆熙一年に於ける解散軍隊の將校連は頃者寄り〻集會する處ありて今次軍部廢止に際する一時賜金の例に倣ひ既往に遡り退官賜金の恩典に浴せんとて目下盛んに運動中の由にて一昨二日解散軍隊の幹部連は會合すべき筈なりしも都合の爲め延期したるが尚同將校連は大韓興業會なるものを組織する計畫にて來る五日訓練院に會合凝議する筈なりと

●韓銀株締切手續

韓國銀行株式募集締切手續は各取扱所の報告により發立委員事務所は遲滯なく是を計數し滿株に達したる時は直に募集締切の日時を各取扱に通知し各取扱店は此旨店頭に掲示し其以後の申込を謝絕するものとす而して此結果に於ける過剩株處分は案分を以て整理するか又は小株切捨を爲すかは未定なりと云ふ

●韓銀株振替申込

韓銀株に對する一般の人氣は非常の盛況なるが若し各銀行にて振替申込を許す時は一層の盛況を呈し百倍は愚か千倍以上の多額に達すべきは現下の經濟界より推定するを得べし而して當地一銀支店は斷然振替申込に應せざる方針なるが內地にても無論此方針に出づべしと

●兩師團長送迎會

西島第六師團長後備に編入せられ木越中將其後任を命せられたるに付き龍山にては木越新師團長の來任次第盛大なる送迎會を催す筈にて大久保民長初め同地有志は目下相談中なりと

●各大臣の蘇島行

一昨二日李總理朴內相、高法相、李學相及中村農務局長等打連れ蘇島なる園藝模範場を視察したる由にて同場は目下農況視察の上に於て好時期なれば一般人民の視察を許す筈なりと

●水利組合の設置

水利組合に關しては嘗きに道書記官會議に於て凝議する處ありたるも議纏らず閣來內部度支部は屢次協商を重ねつゝあるが全北、黃海の兩道の如きは大々的水利組合を設くる計畫ありと

●武官學生の出發

我陸軍中央幼年學校に入學すべき韓國武官學生四十二名は豫定の如く昨三日午前九時南大門發の列車にて小倉大尉引率し渡日の途に就きたりと

●梅ヶ香丸の招待

二船梅ヶ香丸は既報の如く愈今四日釜山へ入港し明五日一般の縱覽に供する筈にて海事協會有地理事長より其々招待狀を發せり

●定例參與官會議

昨日は定例參與官會議に付き石塚長官を始め各參與官統監府に參集し各部の政務に對し審議せりと

●龍山民會の召集

龍山民團にては近々民會を召集して小學校開校式に關する件其外重要の議案を附議すべしと云へり

●獨逸の電話開通　南山町二丁目獨立通信社は社長牧野務氏病氣全癒したるに因り名あり職員は男數員十人女四人なりと因に

●心の垢　實業と修養　井波輪番　上杉忠彦

●配達出勤　午後七時

近事片々

▲祖國　本年の米作豫想は五千四百余萬石平年より一割七分の增收は是れ稀なる大豐穰

▲韓國の米作豫想は平年以下との事なれば祖國の豐穰は此際最も意を强するに足る

▲官報　統監は官廳ならざるも長く韓國に居らざるべしと東京の某新聞は報ずるは眞か

▲政治多時の今日斯る風說は甚だ面白からず遺憾ならざるも長く韓國に

▲保護　政治多時の清兵時々暴行をなすも少數の日本兵現るれば忽に屏息逃遁すと左もあらむ

▲之を　以て見るも間島に於ける日韓民の保護には我兵を當に駐劄せしむる必要あり

▲清國　は七年計畫を以て海軍の再興を圖ると是れ清國の現狀に於て不止得の計畫か

▲七年　目には一等戰艦八隻遠洋艦廿隻其他の戰艦十隻也と豫想通り出來れば結構也

▲十數　年前鎭遠定遠を率ひて丁汝昌が威張たる事を回想すれば往時殆ど夢路の心地

▲日清　親善協同一致すれば極東の平和は永遠に堅し反目せば反對の結果を見るべし

▲攝政　王の自覺により是非日清親善を實現し眞に極東の平和を永遠に確保したし

▲老婆　が喰切ね勝果を小兒に食せて胃腸を害す北海道の招殖策は是也と慢罵評す

▲然ら　ば韓國拓殖の現狀を慢罵歟は何と評すらむ

▲ハイカラ　拓殖策は實際胃腸を害す

▲月光　際子に松影を映す月が書く酒落

▲やしやんせ　筆のないのに月が書く酒落

▲豪放　なる慢罵東北至る所に例の氣焰を吐く之に者てられたるものの喜ぶ者怒る者有

資業務を擴張する目的にて電話架設出願中の處明日開通番號は一千二百四十五番なり

●大東共報の押收　浦港に於て發行する大東共報第六十三、四號は治安妨害の廉にて內務大臣より發賣頒布を禁止されたりと

●工藤局長の招宴　八日午後六時半より京城ホテルに於て農商工部各員を招待し晩餐を饗する筈にて夫々招待狀を發送せりと

●定例閣議の開催　一昨二日李首相以下各相（度相欠席）內閣に參集定例閣議を開く

●遠藤主計監出發　駐劄軍經理部長たりし遠藤主計監は三日夜行列車にて歸朝せり

●島瀨中佐入京　陸軍步兵中佐島瀨幸義氏は去る二日入京し旭旅館に投宿せり

●下田文吾氏入京　鐵道院技師の同氏は去る三日入京京城ホテルに投宿したりと

各渡船場を巡視したるが現在渡船場は七箇所に存在して其数益少ならず自然出願の

▲相談の相談▼

（何でも御相談に應じ弁）

◎問 私は現在仁川宮町で飲食店を開いて居る者なるが御存じの通の不景氣にて火の消わたよう六七人も酌婦を抱へてるのにれ客とては一日に三人あるかなしで夫れもホンの八十錢か九十錢高々一圓四五十錢しか貰はぬ客故何うにも斯にもならず何程不景氣なればとて京城はた膝元なれば不景氣さが違ふと思ひますに就いては移住致したく思ひますが如何なるものか御相談致します猶序に場所は何の邊が宜いかれ報せ下さい（宮町一主人）

◎答 厳冒ちやない、京城の不景氣も敢て仁川に譲らない、計りちやない君方が移住なぜ爲て呉れなくても君の所謂飲食店は京城には始末に終へぬ程あるのは先刻御承知だらう到底此所に君を歓迎する餘地を有さないことは言ふを須ゐずである猶夫れ計りでない、縱令君を容るゝ餘地ありとするも本紙は淫賣屋の開業奮策に参與する光榮を有したくないと爾云（係）

◎問 僕は此の頃或る友人に勧められて諸方のキリスト教會に出入して其の教化を受けつゝある者なるが故郷に居る親は又非常に耶蘇嫌ひであるので僕が洗禮でも受けたと云ふ事でも聞けば非常に立腹するだらうと思ふので純然たる信徒の一人たることを躊躇して居るのだが何だか物足りぬ不安の念があるもので一層の事一思ひに萬障を排してバプテスマを受けて終うかとも思ふが之れにも又不安が伴ふ如何にせば此の際に處する最良法なるべきか敢て記者足下乞御相談する（花山生）

◎答 バプテスマなるものは入信手續である、雨親を怒らして迚法定年齢に達したるを利用し自由結婚をするのは日本では野合と云ふのだ、須らく雨親の承諾を得てからになさい、御雨親の此れを嫌はれると云ふにも相當理由はあらうから之れを説破——と云ふも語弊があるが得心の行く様に話しを濟ませてからになさつたが宜い、現時の若い方は獨りで喪溺めからでも生れ出た様に雨親と云ふ者に著しく敬意を缺く所あるを以て特に云ふ、雨親にさへ滿足を與へる丈けの孝養を踏み得られぬものが神の子には成れんよ（係）

●前科三犯の美人

▲生れは廣島年は二十一

仁川萬石洞旅館兼料理店八景園にては一昨日三十圓入りの財布を取り散し置きたることを程經て心付きしより其所此所と家内隈なく探し求めたるも影も形も見へざるより必定何者にか窃取せられたるに相違なしと其旨警察署に訴へ出でたるより同署刑事は時を移さず同家に出張し種々取調べたるが稼業柄人出入多きも同日は平素に異なり餘りに人の出入りも少なく且つ家人より外滅多に立ち入らざる居間の事とて外來の者にあらざるは明かなるより夫れとなく雇人達の挙動に注目しつゝありしに女中の一人廣島縣高田郡大野村生れの山縣かめ（三）なるもの〻挙動嚴しく取調ぶるも仲々に實を吐かざる由なるが同人は近々一ケ月程以前同家に傭入れられたるものにして女中なるには惜しき程の美人なりと云ふが取調べの進むに連れ或は驚くべき犯罪あるも知べからずと

窃盗前科三犯の曲者

なること判明したるより扱てこそ同家の賊も此れに間違なかるべしと厳しく取調ぶるも仲々に實を吐かざる由なるが同人は近々一ケ月程以前同家に傭入れられたるものにして女中なるには惜しき程の美人なりと云ふが取調べの進むに連れ或は驚くべき犯罪あるも知べからずと

●巡査殺しの公判

▲西小門外の三人強盗

仁川理事廳裁判所にては來る七日婦女誘拐犯岸邊勇吉外三名の公判を又來る十一日午前十時よりは本年二月二日の夜西小門外に於て警視廳訓令課刑事巡査山本雅夫氏を殺害したる支那人に假裝したる三人組強盗愛媛縣額田郡岡崎町大字六供廿一番地奥谷悦治福岡縣三潴郡西牟田村今町千二百番地津城太八愛知縣碧海郡矢作村百二番戸三浦周吉等の公判ある筈なりと云ふ

●京城の虎列拉

▲中部管内に發生

中部管内長橋洞卅一戸金相協方金貞變（三）は一昨二日午前八時頃死亡せしが其の病症の甚だ疑はしき點あるより其の筋にては警察醫をして檢診せしめたる結果虎列拉病と判明せりと昨候病大に警戒すべき事共なり

●嫉妬喧嘩の滑稽話し

▲氏神ならぬ情婦の仲裁

大和町一丁目に大花亭と銘打つて行燈掛げし料理店あり此亭の女將れ何（三）は以前當地新町月下楼へ仲居奉公なし居りしものなるが少々の資本の出來たる處より本年五月頃同樓を辭して前記の處に一家を構へ二人の娘あるを幸ひ之を看板に桑下運を引込んものと料理店を開きしが助黨の多き京城の京城梅毒病院の二軒長屋に忽ち同町日の出橋附近の二軒長屋に住び○○（三）と云へるが其の姉娘花（十）を見て延を流し本年六月頃同樓に登楼し一夜の春を買ひしが病み附きとなり内には妻の何のあるも顧みず爾來は内を外にしてれた花の許に通ひ居りしがつい此の間の事餘りの事に女房がチヨツコン燒きなしが元となり夫婦喧嘩を始めた末男はフと家を出しまゝれ花の許に入びたり腰を極めて巫山戯居るにぞれ花は夫れでは不可なりと家を出しまゝれ花の許に入びたり腰を極めて巫山戯居るにぞれ花は夫れでは不可なりと勧めしも我家とは云へ少々マリが悪いとの事に夫れではとて花は自分で其の留守宅に出掛け女房れ何に逢ひ其の間に立つて仲裁の勞を取りドウいふ甘い事を云つて胡魔化したか双方機嫌を直したのみならず其の仲直りを大花亭にて催し底抜けの大騒ぎを遺たとは滑稽

●賭博打ちの珠數繋ぎ

▲此の度限り說諭で放免

一昨二日夜八時頃仁川花町一丁目餅商和田元八郎方温突内にて同人を初め餅行商人濱口吉五郎（三）同服部庄三郎（十）及び花町一丁目田淵里次方人力車夫片山芳松（三）の四名が車座になりて花合せ及びカブと稱する賭博をなし居る所へ花町派出所巡査が踏み込み四名殘らず引つ捕へ珠數繋ぎとなし本署に引致し取調べたる所四名のものは元より賭博を常業とするものにあらずして唯だ三錢乃至五錢位の小額を賭して慰み半分に爲し居りたる旨判明したれば厳しく後來を戒めたる上此度丈けは許し遣はす下れつと大喝せられウヘエと縮み上つて引き下る

●懲役一年六ケ月

仁川宮町二丁目米商中上嘉作方居人加藤伊三郎と云ふが本年五月頃より花客先き數十軒より百九十余圓を集めながら主人に渡さず淫賣店にて消費したることを去月十七日主人に感づかれ二階より逃走し仁川署に駆け込みたる事は其の當時記したる所なるが右伊三郎は一昨日仁川理事廳にて懲役一年と六ケ月に處せられたり

●義州の虎疫猖獗

本月一日義州に清韓人男各一名コレラ病に罹り共に死亡し尚は其の附近に韓人男二女二の同病新患者を出せり

▲梅毒病院の落成

神戸資生分院たる京城梅毒病院は今回相生町（南門湯屋）に夫れは君の見方が違ふ京城の三美人と云ふ

演藝

▲歌舞伎座

日の替りは江見水蔭氏作「女漁師」全九場にして役割は左の如し

女漁師たき（西井）漁師大作（仁科）繼母とみ子（桂木）野々井文藏（河野）武田義則（角村）番頭喜助（大和）村岡利平（松村）漁師爲作（小谷）巡査本間（天草）青生岩田（有村）ナラズの網五郎（北村）漁師吉三郎（中村）番頭喜助（大和）村岡利平（松村）漁師爲作（小谷）巡査本間（天草）青生岩田（有村）ナラズの網五郎（北村）漁師吉三郎（中村）ればなら（三嶋）石田猛（美崎）骨董屋德兵衛（篠崎）漁師山本秋作（愛澤）はじのれくま（高島）漁師作造（忍）

▲軍義隊

一廠本日の替りは江見水蔭氏作の「漁師」全九場にして役割は左の如し

吉 囚 銃

本町五丁目 三一館判斷

九月四日旧七月廿日三碧友引丁卯あやふ

△一白 退歩の日なり他日の爲め宜しく潜勢力を養ひ置くべし△二黑 陰暗の日なり閲遠を生じ易し土木鑛山の業に付て吉とす△三碧 蓬瀛閉塞の日なり創始改易の事囚只旅行動土家宅修理は吉とす△四綠 腰服風從を受くる事あり且人の已心過剰より大計を誤る事あり短慮驚端を生ずるとあり△六白 急進猪突に驕せず音信より慫慂又は誤あり細密の秘計を要す△九紫 通達の日なり吉、火を扱ふ業者は火の元を作らざれ他人の推薦を受くるは調ふ△七赤 妄に人に和し他日の害損の因に付き失体あり細密の秘計を要す△八白 口腹の禍を慎しみ又業務上の注意を拂ふべし

右は概括的判斷なり各人格別に付て以直接同館の鑑定を請はるる可し

平民文庫

▲此頃の新聞を見ると解雇廣告の二つ三つ見當らんことはない之れは要するに主人たる者の監督の行届かぬ處あるものゝ證なるべしと云ふ

▲三日の京城日報に御尋ね致した所配達夫の猪又配達人なりと御使用下されはなかれ（れ夢ね生）▲清華亭の今奴は京城日報の三美人の一人に入る位だから以て京城藝妓の直値も知れたもんだ（呵々子）▲今奴が三美人の一人に入つて居る京城の三美人と云ふ

たからとて京城中での美人中の最美人と云ふ譯ではない京城美人中の三人と云ふ次第と承知されたし（小僧）▲清華亭の玉吉と花月の君江とは何處となく能く似て居るが愛嬌は君江の方に閉扇を上げるけれど全體に就いては玉吉を推さゝるを得ない特に髪の毛の立派なことに於て（批評子）▲斯う云ふ長い投書が來たが面白いから載せる▲仁川敷島の一山樓の一駒が養溜に落ちたとあつた記事は當人取り消しの通り養溜では無つた▲が豫て馴染の可愛々々の敷島樓の主人の松さんと相引きすべく忍ぶ戀路の晴がりを一足探りに同樓の裏門口迄忍び寄つたは其の夜も更けた十二時過の事▲今日此頃の狂ふて事實に於て養溜よりは汚ない溝の中へ筋斗打つて眞逆樣にドダンボチャンと落ち込んだのは事實である▲此れは足許が狂つた計りでない一つは亡魂——と云ふと優しいが大きな尻の重さが手傳つたと云ふのも爭ふべからざる事實である▲更に同人の計りは慰に眩んで居たと云ふことも事實である▲と迄は既に朝鮮日々子に依つて機敏に紹介せられた事實であるが▲滑稽は此れからであるが除り長くなるから明日に讓る（係）▲平民文庫の續物は奇拔だ（小僧）

窃取形

せられたるに相違なしと其旨警察署に訴へ出でたるより同署刑事は時を移さず同家に出張し種々取調べたるが稼業柄人出入多きも同日は平素に異なり餘りに人の出入りも少なく且つ家人より外滅多に立ち入らざる居間の事とて外來の者にあらざるは明かなるより夫れとなく雇人達の挙動に注目しつゝありしに女中の一人廣島縣高田郡大野村生れの山縣かめ（三）なるもの〻挙動嚴しく取調ぶるも仲々に實を吐かざる由なるが同人は近々一ケ月程以前同家に傭入れられたるものにして女中なるには惜しき程の美人なりと云ふが取調べの進むに連れ或は驚くべき犯罪あるも知べからずと

窃盗前科三犯の曲者

なること判明したるより扱てこそ同家の賊も此れに間違なかるべしと厳しく取調ぶるも仲々に實を吐かざる由なるが同人は近々一ケ月程以前同家に傭入れられたるものにして女中なるには惜しき程の美人なりと云ふが取調べの進むに連れ或は驚くべき犯罪あるも知べからずと

●巡査殺しの公判

▲西小門外の三人強盗

仁川理事廳裁判所にては來る七日婦女誘拐犯岸邊勇吉外三名の公判を又來る十一日午前十時よりは本年二月二日の夜西小門外に於て警視廳訓令課刑事巡査山本雅夫氏を殺害したる支那人に假裝したる三人組強盗愛媛縣額田郡岡崎町大字六供廿一番地奥谷悦治福岡縣三潴郡西牟田村今町千二百番地津城太八愛知縣碧海郡矢作村百二番戸三浦周吉等の公判ある筈なりと云ふ

●京城の虎列拉

▲中部管内に發生

中部管内長橋洞卅一戸金相協方金貞變（三）は一昨二日午前八時頃死亡せしが其の病症の甚だ疑はしき點あるより其の筋にては警察醫をして檢診せしめたる結果虎列拉病と判明せりと昨候病大に警戒すべき事共なり

●嫉妬喧嘩の滑稽話し

▲氏神ならぬ情婦の仲裁

大和町一丁目に大花亭と銘打つて行燈掛げし料理店あり此亭の女將れ何（三）は以前當地新町月下楼へ仲居奉公なし居りしものなるが少々の資本の出來たる處より本年五月頃同樓を辭して前記の處に一家を構へ二人の娘あるを幸ひ之を看板に桑下運を引込んものと料理店を開きしが助黨の多き京城の京城梅毒病院の二軒長屋に忽ち同町日の出橋附近の二軒長屋に住び○○（三）と云へるが其の姉娘花（十）を見て延を流し本年六月頃同樓に登楼し一夜の春を買ひしが病み附きとなり内には妻の何のあるも顧みず爾來は内を外にしてれた花の許に通ひ居りしがつい此の間の事餘りの事に女房がチヨツコン燒きなしが元となり夫婦喧嘩を始めた末男はフと家を出しまゝれ花の許に入びたり腰を極めて巫山戯居るにぞれ花は夫れでは不可なりと家を出しまゝれ花の許に入びたり腰を極めて巫山戯居るにぞれ花は夫れでは不可なりと勧めしも我家とは云へ少々マリが悪いとの事に夫れではとて花は自分で其の留守宅に出掛け女房れ何に逢ひ其の間に立つて仲裁の勞を取りドウいふ甘い事を云つて胡魔化したか双方機嫌を直したのみならず其の仲直りを大花亭にて催し底抜けの大騒ぎを遺たとは滑稽

●賭博打ちの珠數繋ぎ

▲此の度限り說諭で放免

一昨二日夜八時頃仁川花町一丁目餅商和田元八郎方温突内にて同人を初め餅行商人濱口吉五郎（三）同服部庄三郎（十）及び花町一丁目田淵里次方人力車夫片山芳松（三）の四名が車座になりて花合せ及びカブと稱する賭博をなし居る所へ花町派出所巡査が踏み込み四名殘らず引つ捕へ珠數繋ぎとなし本署に引致し取調べたる所四名のものは元より賭博を常業とするものにあらずして唯だ三錢乃至五錢位の小額を賭して慰み半分に爲し居りたる旨判明したれば厳しく後來を戒めたる上此度丈けは許し遣はす下れつと大喝せられウヘエと縮み上つて引き下る

●懲役一年六ケ月

仁川宮町二丁目米商中上嘉作方居人加藤伊三郎と云ふが本年五月頃より花客先き數十軒より百九十余圓を集めながら主人に渡さず淫賣店にて消費したることを去月十七日主人に感づかれ二階より逃走し仁川署に駆け込みたる事は其の當時記したる所なるが右伊三郎は一昨日仁川理事廳にて懲役一年と六ケ月に處せられたり

●義州の虎疫猖獗

本月一日義州に清韓人男各一名コレラ病に罹り共に死亡し尚は其の附近に韓人男二女二の同病新患者を出せり

▲梅毒病院の落成

神戸資生分院たる京城梅毒病院は今回相生町（南門湯屋）に夫れは君の見方が違ふ京城の三美人と云ふ

新築落成

新築落成し施療を開始したり院長は元兵庫縣福原編梅病院醫長たりし得業士蔦田耕平氏にして梅毒施療に關しては頗る經驗に富める人なりと云ふ

●浮浪人の拘留處分

廣島縣加茂郡竹原町生れ堀川增吉（三）は去る八月中旬より一定の住所職業なく京城内を徘徊し居たるを以て浮浪罪として南部署へ引渡せらる

▲敷島の一山樓

敷島の一山樓の一駒が養溜に落ちたとあつた記事は當人取り消しの通り養溜では無つた▲が豫て馴染の可愛々々の敷島樓の主人の松さんと相引きすべく忍ぶ戀路の晴がりを一足探りに同樓の裏門口迄忍び寄つたは其の夜も更けた十二時過の事▲今日此頃の狂ふて事實に於て養溜よりは汚ない溝の中へ筋斗打つて眞逆樣にドダンボチャンと落ち込んだのは事實である▲此れは足許が狂つた計りでない一つは亡魂——と云ふと優しいが大きな尻の重さが手傳つたと云ふのも爭ふべからざる事實である▲更に同人の計りは慰に眩んで居たと云ふことも事實である▲と迄は既に朝鮮日々子に依つて機敏に紹介せられた事實であるが▲滑稽は此れからであるが除り長くなるから明日に讓る（係）▲平民文庫の續物は奇拔だ（小僧）

廣告

EDP 品質精良且廉價にして御進物に最適當なる高尚優美の土耳古・埃及金口莫及葉卷各種（百本入七十五錢以上）大安賣卸 本町二丁目 直輸入商 日希商會

アサヒビール サッポロビール

▲誤植 昨二日本紙第三面廣告欄東亞煙草株式會社抽籤當籤番號廣告中第六等二五九四は二九九五及三八五五の誤植に付訂正す

北西の風曇後晴れ 最高溫度 七六、二 最低溫度 五九、〇 二日（華氏）

天氣豫報（自三日午後六時至四日午後六時）

人力車大安賣 角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門

手選特等 白米現金値段 五斗入 七圓七十五錢 一叺 十六錢 同一升に付 廿貫方餘 御賣は特に御相談申上候 京城本町一丁目（電話六三二番） 今村商店

諸官衙人力車荷物荷造及運搬 監府御用 伊藤組 本店 京城本町三丁目（電話四〇番） 同南大門驛構内（電話七三二番） 出張所

▲清潔の下宿▼ 客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候 壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡） かめ屋

▲懇切の下宿▼

待合

馬車配達 純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

●滋養と牛乳●

●衛生と消毒●

●消閑之清遊● 京城明治町一丁目 京城碁會（大和湯前〇万隣）

●毎日午後 開會諸君 子陸續罷 臨を賜へ 市中之仙境

公告

韓國銀行株主募集廣告中ノ第七項第二號ノ株式募集申込ノ期限内ニ募集締切ノ手續左ノ如シ

一、韓國銀行設立委員事務所ハ取扱店ノ報告ニヨリ申込株數カ需要額ニ達シタリト認ムルトキハ募集締切ノ日時ヲ各取扱店ニ通知ス

一、各取扱店ハ右ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ募集締切ノ日時ヲ店頭ニ掲示シ其以後ノ申込ヲ謝絶スルモノトス

明治四十二年九月三日

韓國銀行設立委員長 男爵 松尾臣善

消毒用デシンフオルマリン外一式 病虫害驅除豫防藥一式 工業用藥品類 農具種子苗木肥料類 京城本町一丁目（長谷川町筋） 三輪商會 電話三八六番

第二回營業報告貸借對照表

資産之部

未拂込株金	二、二五〇、〇〇〇、〇〇〇
興業費	九二、二五八、〇六五
貯蔵品勘定	一二、〇〇八、五五九
次期繰越損益勘定	二一一、五二二、七九二
假拂費	七三、五四一、一六八
有價證券	四、九二四、〇〇〇
行預金	四九五、八三八、〇七〇
海外駐在員内渡金	一五七、五七二、九〇〇
韓國銀行代理店	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇
美電氣會社買收金	三一〇、九三〇
現金	四、四九七、九七六、九九六
合計	四、四九七、九七六、九九六

貸借之部

資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
約證金	八、五一〇、〇〇〇、〇〇〇
契約保證金	二六、一三〇
身元保證金	一、五六、四一三、一二〇
未拂金	六二、三八三、二一〇
借入手形	七〇〇、〇〇〇、〇〇〇
前期繰越金	五、三七七、八一〇
當期利益金	六、〇二五、〇〇六
合計	四、四九七、九七六、九九六

損益計算

支出 差引利益金	一、七、〇八二、一二五
前期繰越金	一、〇五七、一一九
合計	六、〇二五、〇〇六
收入	五、三七七、八一〇
合計	一、四〇二、八一六
後期繰越金	一、四〇二、八一六

右調査候處相違無之候也

明治四十二年八月

監査役 伊藤幹一 同 平澤道次 同 金時鉉

取締役 澁澤榮一 辭任ニ付補缺選擧ヲ行ヒシ處白石直治當選シ監査役任期滿了ニ付改撰ノ結果前任者何レモ再撰セラレタリ

取締役 岡崎遠光 同 高松豐吉 同 久米良作 同 大橋新太郎 同 山口太兵衛 同 白寅基

專務取締役 日韓瓦斯電氣株式會社

▲無料紹介欄▼

人事部

●望仲鰥　配偶者ある二十六の女滑稽なる家庭の仲鰥又は針女に屋はれたし但給料八九圓を望む　氏名在社（四二五）

●被雇度　普通教育ある二十八の男一疋相當の職業を授けらるゝ仁人君子に遭逢したし但會計學簿記方などに屋らるれば尤妙　氏名在社（四二六）

●求人　外勤事務員採用午後四時より來談　京城相生町一六南門館　波多野

●求職　年廿五内地商業學校教員率職中の者情誼及商科一般の智識あり會社商店若くば官廳に屋はれたし　氏名在社（四二七）

●下女入用　廿歳前後の下女入用希望者は本人直接來談あれ　龍山停車場前大陽館

●求職　多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求ひ但給料多きを望む　氏名在社（四二一）

物件部

●求宅地　官吏ひき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし　京城旭町一丁目五十三ノ四　安藤

●求職　龍山電話格安に至急譲渡したし　氏名在社（四三三）

●龍山來設電話賣却又は貸渡したし　氏名在社（四三四）

土耳古金口莨

太巻特製品景品附大賣出

●賣出期間　明治四十二年七月十五日より同年九月十五日まで
●抽籤日　同年九月二十日
●景品引替期間　九月廿一日より十月卅日まで
●本景品券は百本入壹個に付一葉を呈す

景品目錄
額面金貳百圓勸業債券　一個
金側時計　一個
二枚續白毛布　一個
一等　一圓四十錢
二等　一圓
三等　十錢
四等　ブドウ酒（一打入）
八等　コーヒー器具
十等　バスケット
一號太巻インペリヤアル　一箱
インペリヤアル　五等　金口莨（百本入）
黒巻スポート　七等　信玄袋　一箱
九等　手提文庫　一個
婦人レース　一枚
（以下空籤なし）

特約店
本町六丁目（電話五七一番）　トルコ煙草商會
本町二丁目（電話二四八番）　岡野洋物店
本町三丁目（電話三六六番）　辻屋本店
支店

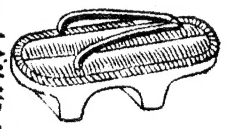
名譽銀牌受領
キリンビール

賣本金十圓にて一日壹圓以上の利益ある職業あり希望の方は御來談あれ　京城黄金町三番戸　國松商會

消毒防臭劑
クレシン

京城本町二丁目　四ケ所洋物店　電話三二一番

東京



本店東京　京城大和町一丁目日の出橋際　大和屋　藤井出張店　電話二百〇五番

正札付大安賣　厘毛引なし安心して買へ升

織居商店の大發展
自轉車部移轉開設廣告

從來本町四丁目本店内にて時計及寫眞機と共に營業致居候處店舗狹隘の爲め今般自轉車部を本町二丁目に移し益業務に勉強仕候間倍舊御引立願上候

新荷着

英國製
コンマンダー號　ケンネツト號
ス井ィトホーム號　サクセス號
米國製
クリーブランド號　ウエスト號
ギレック號　セ子ラル號

修繕は特に迅速丁寧に可仕候

京城本町二丁目
織居自轉車部

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目
原金旅館
（電話長一〇七番）

朝日石鹸製造所

種々洗濯石鹸　專門製造販賣　用途一覽
防蟲鉛、道具、鐵、山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目
（電話九七三番）

新案富田式耐久靴底發賣廣告

新案特許出願中（富田式耐久靴底三六九八九號　富田式耐久靴踵三六九八八號）

捻廻し一本で誰でも出來る靴修繕

靴裏に破損を生せざる以前に用ゆれば靴修繕の必要なし

安價にして自宅修繕に便なり

婦人小供にても容易に取り付け自由なれば旅行用番すべきもの

必要品なり

如何なる旅行者と雖も十ケ月間破損の憂なし

運の回轉自由なり

●本品は　●本品は　●本品は　●本品は　●本品は　●本品は

右賣出拔羅の爲め弊店にて七圓以上の靴御買求の御方樣へはゴム製上等品一足分尚七圓以下五圓迄の靴御買求めの御方樣へは皮製上等品一足分進呈可仕候

價格廣告

●ゴム製上等品　一足分　金二圓三十錢
●皮製上等品　一足分　金八十錢

當分二割五歩引

京城本町一丁目（現事廳前通り）

富田製靴店

電話九一九番　富田製靴支店

京城本町六丁目　富田

地方よりの御注文は代金引替小包にて差上可申候

日韓印刷株式會社

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三一二三番
出張所　東京麹町區麹町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

營業科目
活版、石版、銅版、各種印刷、帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷、諸材料販賣

食道樂

さかや家
壽町二丁目　●　電話九四四

些も猥がましき分子を含まず
國理と設備の氣の利いた所を命として資出申候
高尚にして而かも華美に流れず
紳士淑女を俟つに耻しからぬも極めて質素を旨とし萬事御手輕を專一といたし候
尤も趣味深き娯樂場として
御心置なく一日の御清遊に適すべく風呂及び娯樂器の備をいたし候

折箱製造元

京城明治町一丁目五十番戸　鳥山商店
京城旭町一丁目三二六番戸　安東病院　電話七十三番
箱信事

内外科　産科　小兒科　花柳病　入院隨意

内外科小兒病梅毒淋病

京城壽町三丁目　高井醫院　電話（二一六）
院長陸軍軍醫正　高井貞治

謹告

殘暑の候各位益々御清祥奉南山賀候弊店儀豫而店舗改築中の處今般落成仕候に付來る九月一日より從前の通り開店營業仕り從來の御愛顧に酬ん爲め一層業務擴張益々確實なる正札を以て精々安價に且つ丁寧と精實に奮勵仕候間倍舊の御引立を給はり御尊來被成下度謹而奉願上候也

京城本町四丁目
君ケ代足袋發賣元
山口呉服店
電話九番

日本郵船株式會社

仁川海岸通　電話三九番　郡回漕店
貨物及船客取扱店

●釜山長崎門司神戸行　山東丸　九月二十六日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行　高砂丸　九月　丸　日正午時出
●大連、大沽、牛莊行　山東丸　九月十四日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行　酒田丸　九月　三十日正午時出
●釜山出帆、元山、横浦、浦鹽行　神戸丸　九月　八日午後出
●釜山出帆、元山、横浦、浦鹽行　立神丸　九月　八日正午時出

御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

東京災害運送保險株式會社

明治廿年七月創立●京城代辨店　本町四山口呉服店　電話九番
資本金二千萬圓●事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番

大上商店

（電話二一五一番）

特約販賣　自製
醬油製造元
漬物味噌
京城本町五丁目

和洋酒●精酒、穀物麺類銘茶、鑑詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候